

北欧ダブルインカム・ファンド

投資者の皆さまへ
(販売用資料)

— 予想分配金提示型 —

追加型投信／海外／資産複合

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

北欧の可能性を拓く新たな商品。



Denmark



Finland



Norway



Sweden

目論見書のご請求・お申込みは・・・

大和証券

Daiwa Securities

<販売会社>

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は・・・



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

<委託会社>

商号等 大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お申込みの際には、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」等を必ずご覧ください。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、大和住銀投信投資顧問が作成した販売用資料です。
- 当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- 当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

(2014年3月作成)

北欧の可能性を拓く『北欧ダブルインカム・ファンド』

— 予想分配金提示型 —



魅力 1 先進国におけるニューフロンティア。北欧という新しい投資地域をご提案します。

- ▶ 北欧4カ国は、安定した経済力と高い信用力(AAA格)を有する先進国のニューフロンティア(新境地)です。
- ▶ 北欧は、エネルギー産業、農林水産をはじめ、IT産業、機械、化学、運輸など幅広い産業基盤を有しています。

※北欧4カ国は、デンマーク、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンを対象とします。

➡ P2~P3ご参照

魅力 2 北欧の高配当株式およびハイイールド債券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインとキャピタルゲインの獲得を目指します。

- ▶ 北欧の株式市場ならびに債券市場は、利回り水準が魅力的な市場です。
- ▶ 実質的な運用は、北欧地域の株式・債券の運用で実績のある「アルフレッド・バーグ・カピタルフォルバルトニング社(以下、アルフレッド・バーグ社といいます)」が行ないます。

※流動性、リスクコントロール等の観点から、一部投資適格水準の社債に投資する場合があります。

※株式と債券の実質投資配分は各々50%±20%程度の範囲内とします。

➡ P4~P15ご参照

魅力 3 基準価額に応じた分配金水準をあらかじめ提示します(予想分配金提示型)。基準価額の上昇に応じて分配金が増加する仕組みです。

- ▶ 毎年1月、4月、7月、10月の27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行ない、基準価額に応じた分配を目指します。
- ▶ 基準価額が上昇した場合、ファンドを換金しなくても分配金受け取りにより、利益確定の効果が期待できます。

※分配対象額が少額な場合等には分配を行なわないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

➡ P20ご参照

先進国におけるニューフロンティア。北欧という新しい選択

- ▶ 北欧といえば、オーロラや白夜、フィヨルドなどの雄大な自然、シンプルでオシャレな家具やインテリア、充実した社会福祉など、いろいろなイメージを思い浮かべるでしょう。
- ▶ 実は北欧は、先進国の一部でありながら、日本人にとって投資のニューフロンティア（新境地）。この「北欧ダブルインカム・ファンド-予想分配金提示型-」こそ、北欧にアクセスできる数少ない投資信託です。

国名	人口	面積	首都	主要産業	1人当たりGDP(2013)	名目GDP(2013)	通貨	言語
 デンマーク王国	560万人	4.3万km ² <small>(除く フェロー諸島、 グリーンランド)</small>	コペンハーゲン	流通・運輸、 製造業、 不動産、酪農品	57,998 米ドル (6位)	3,243億 米ドル	デンマーク クローネ	デンマーク 語
 フィンランド共和国	543万人	33.8万 km ²	ヘルシンキ	金属機械、 情報通信、 紙パルプ	47,625 米ドル (15位)	2,596億 米ドル	ユーロ	フィンランド語 スウェーデン語
 ノルウェー王国	505万人	38.6万 km ²	オスロ	石油・天然ガス、 アルミニウム、 水産	101,271 米ドル (3位)	5,158億 米ドル	ノルウェー クローネ	ノルウェー 語
 スウェーデン王国	956万人	45万 km ²	ストックホルム	機械工業、 化学工業、 林業、IT	57,297 米ドル (7位)	5,520億 米ドル	スウェーデン クローナ	スウェーデン 語

※1人当たりGDP、名目GDPは予想値

幸福度ランキング

- 1位 デンマーク
- 2位 ノルウェー
- 3位 スイス
- 4位 オランダ
- 5位 スウェーデン
- 6位 カナダ
- 7位 フィンランド
- 8位 オーストリア
- 9位 アイスランド
- 10位 オーストラリア

※国連世界幸福度報告書(2013)

世界で評判のいい国

- 1位 カナダ
- 2位 スウェーデン
- 3位 スイス
- 4位 オーストラリア
- 5位 ノルウェー
- 6位 デンマーク
- 7位 ニュージーランド
- 8位 フィンランド
- 9位 オランダ
- 10位 オーストリア

※Reputation Institute(2013)

より良い暮らし指標

- 1位 スウェーデン
- 1位 オーストラリア
- 3位 カナダ
- 4位 ノルウェー
- 5位 スイス
- 6位 アメリカ
- 7位 デンマーク
- 8位 オランダ
- ...
- 12位 フィンランド

※OECD(2013)



(出所)外務省、IMF、World Economic Outlook, October 2013、各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

高い信用力を有する北欧

- ▶ 北欧諸国は世界を代表する格付機関からAAA格（安定的）の評価を受けている数少ない国々です。
- ▶ 北欧諸国の財政状況は他の先進国と比較して相対的に安定しています。

北欧4カ国の格付けはすべてAAA格

(2014年2月末現在)



世界を代表する格付機関のスタンダード・アンド・プアーズとムーディーズの両方から**AAA格(安定的)**の評価を受けている国**10カ国**のうち**4カ国**が北欧諸国です。

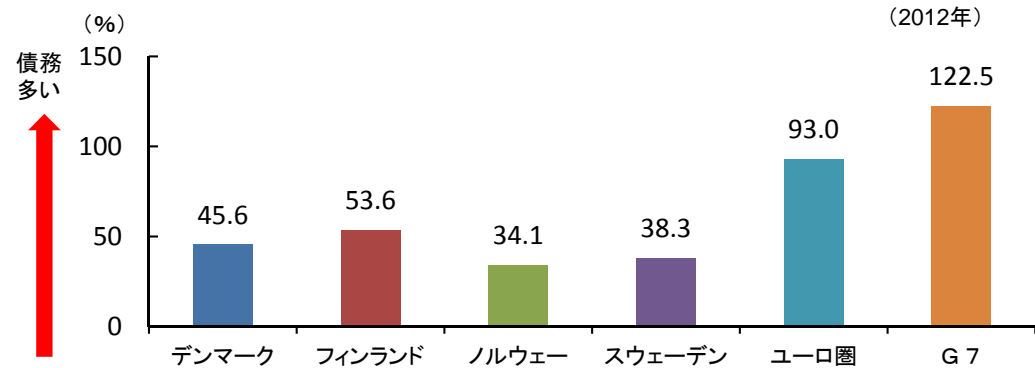
【ご参考】主な先進国の格付け

国名	スタンダード・アンド・プアーズ	ムーディーズ
米国	AA+	Aaa
日本	AA-(ネガティブ)	Aa3
英国	AAA(ネガティブ)	Aa1

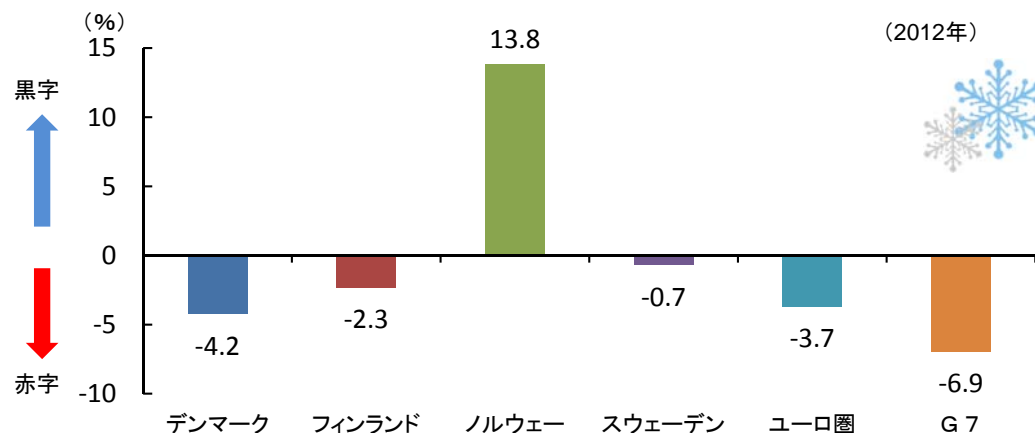
※格付けは、自国通貨建て長期債務格付けを表示
(出所) Bloombergより大和住銀投信投資顧問作成

財政は相対的に健全

政府債務残高(対GDP比)



財政収支(対GDP比)



(出所) IMF, World Economic Outlook, October 2013より大和住銀投信投資顧問作成

当ファンドのねらい

先進国を中心としたグローバルでの景気回復期待が高まるなか、先進国でありながらもニューフロンティアの北欧地域に着目。高配当株式とハイイールド債券(高利回り債券)への投資を通じて、高いインカム収益と値上がり益によるトータルリターンを追求。

高配当株式

- 景気回復局面での北欧株式の上昇期待
- 堅調な企業業績
- 高配当株式投資の優位性

- 堅調な企業業績を受けた配当金の増額期待

【配当利回りの比較(2014年2月末現在)】



※モデルポートフォリオは、2014年3月17日現在の株式部分の配当利回り

ハイイールド債券

- スプレッド(基準金利に対する上乗せ金利)縮小にともなう値上がり益獲得機会

- 変動利付き債券が多い北欧市場
⇒金利変動による価格変動の影響が小さい
金利上昇時に利息収入が増加

【債券利回りの比較(2014年2月末現在)】



※モデルポートフォリオは、2014年3月17日現在の債券部分の債券利回り

値上がり益



高い
インカム収益



※世界高配当株式: MSCI World High Dividend Yield インデックス、北欧株式: MSCI Nordic インデックス、世界株式: MSCI KOKUSAI インデックス、米国株式: S&P500指数、日本株式: TOPIX、グローバルハイイールド債券: BofAメリルリンチ・グローバルハイイールド指数、デンマーク: シティグループ・デンマーク国債インデックス、スウェーデン: シティグループ・スウェーデン国債インデックス、フィンランド: シティグループ・フィンランド国債インデックス、ノルウェー: シティグループ・ノルウェー国債インデックス、世界国債: シティグループ世界国債インデックス(除く日本)、米国国債: シティグループ米国国債インデックス、日本国債: シティグループ日本国債インデックス
※北欧国債: デンマーク、スウェーデン、フィンランド、ノルウェーの上記各インデックスの平均利回り

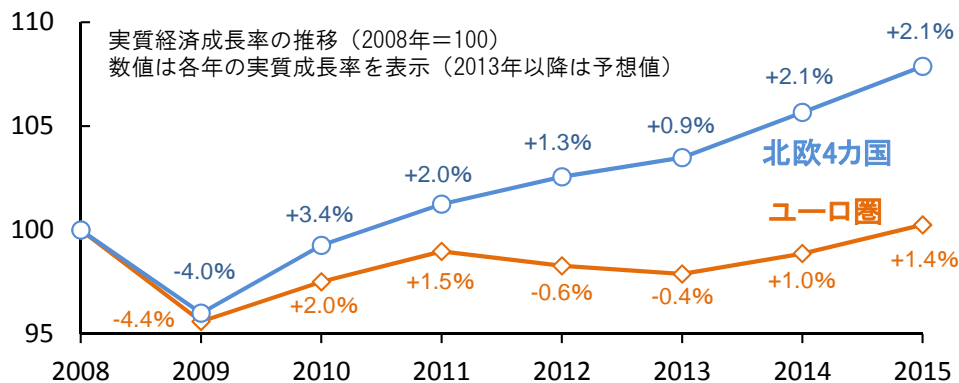
(注)モデルポートフォリオの利回りは、実際の運用におけるポートフォリオの利回りを保証するものではありません(費用・税金等考慮していません)。また、ファンドの運用成果、投資利回り等を示唆あるいは保証するものではありません。モデルポートフォリオの詳細はP13をご参照ください。

(出所)アルフレッド・バーク社、Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

ユーロ圏経済回復の恩恵を受ける北欧の経済と株式市場

- リーマンショック以降、北欧経済はユーロ圏の経済を上回る経済成長を実現しています。
- 北欧経済は輸出先の約70%をEUが占めており、ユーロ圏の景気が回復する中、今後も力強く経済成長していくと予想されます。
- ユーロ圏の景気が回復・拡大する局面では、北欧株式は欧州株式を上回るパフォーマンスを上げており、直近の景況感の回復(2013年7月以降)は、北欧株式にとって好材料と考えられます。

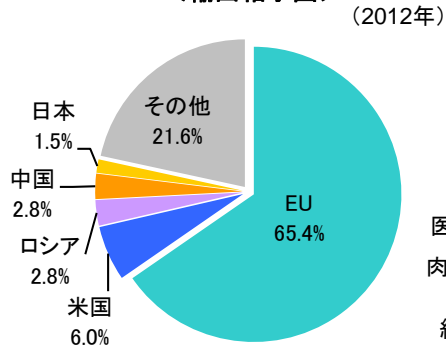
ユーロ圏を上回る北欧経済の成長



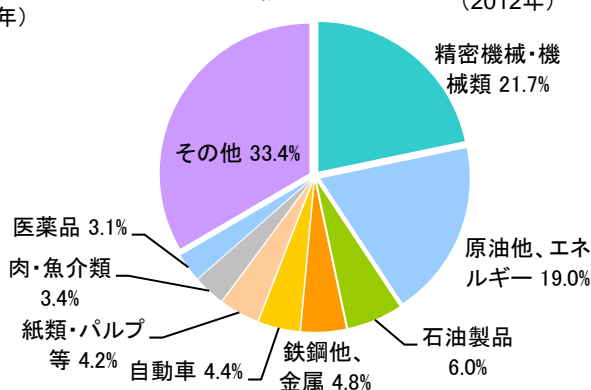
(出所) IMF, World Economic Outlook, October 2013より大和住銀投信投資顧問作成

【北欧の輸出先・輸出品目】

<輸出相手国>

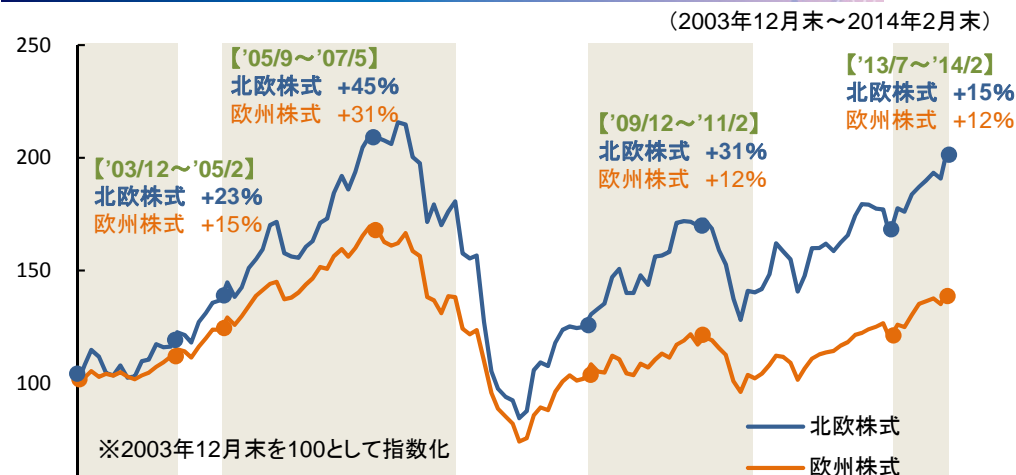


<輸出品目>

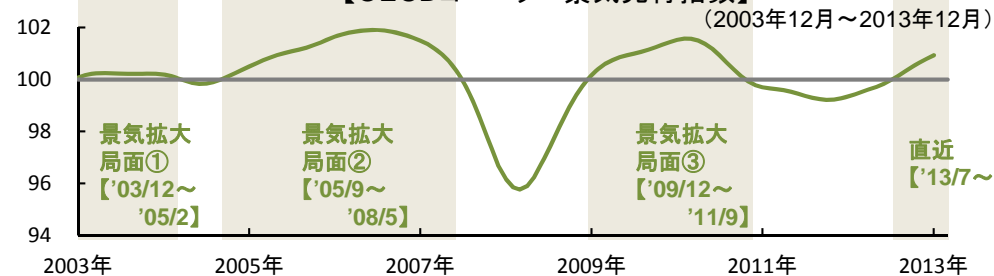


(出所) Eurostat、ノルウェー統計局、世界国勢図会のデータより大和住銀投信投資顧問作成

北欧・欧州株式と景気先行指数の推移



【OECDヨーロッパ景気先行指数】



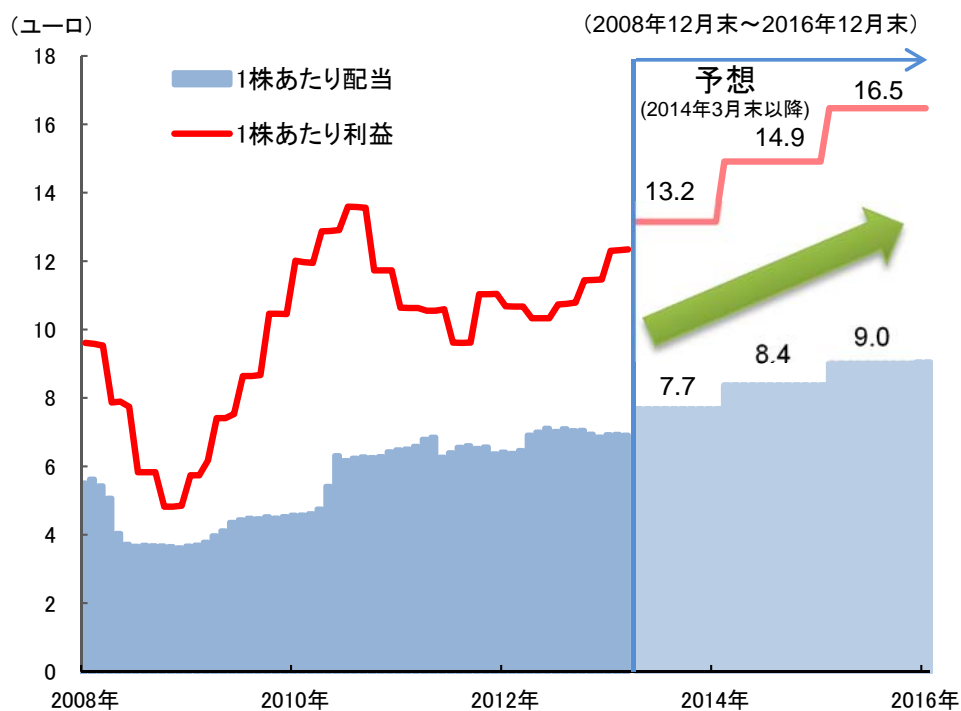
※北欧株式: MSCI Nordicインデックス、欧州株式: MSCI Europeインデックス
※景気先行指数が100以上の局面をハイライト。※騰落率は景気先行指数が100を超えた各局面において、100を超えた月から欧州株式が最高値をつけた月までの期間。※景気先行指数は2013年12月まで

(出所) Bloomberg、OECDのデータより大和住銀投信投資顧問作成

堅調な企業業績と割安な配当利回り水準

- ▶ 北欧株式の配当額は、利益の伸びとともに安定的かつ順調に増加する傾向にあります。今後の1株あたり利益はさらに増加する見通しであり、1株あたり配当も増加する見通しです。
- ▶ 現在、北欧株式の配当利回りが国債利回りを上回っており、株式が債券に対して割安な水準にあります。過去、同様の状態がみられた際には、その後、株価は大幅に上昇しました。

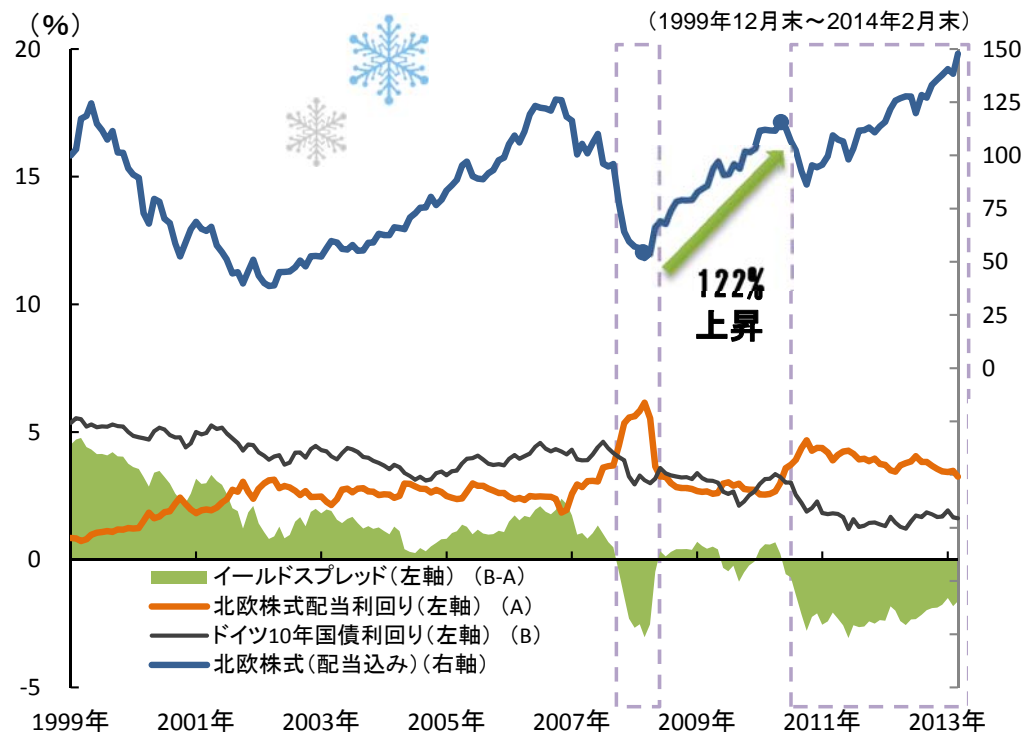
北欧株式の利益と配当額の推移



※1株あたり配当、1株あたり利益の予想は、2014年3月現在のBloomberg予想

※北欧株式: MSCI Nordicインデックス

北欧株式とイールドスプレッドの推移



※北欧株式 (配当込み・ユーロ換算) は1999年12月末を100として指数化

※図中の騰落率(122%)の計測期間: 2009年2月末～2011年4月末

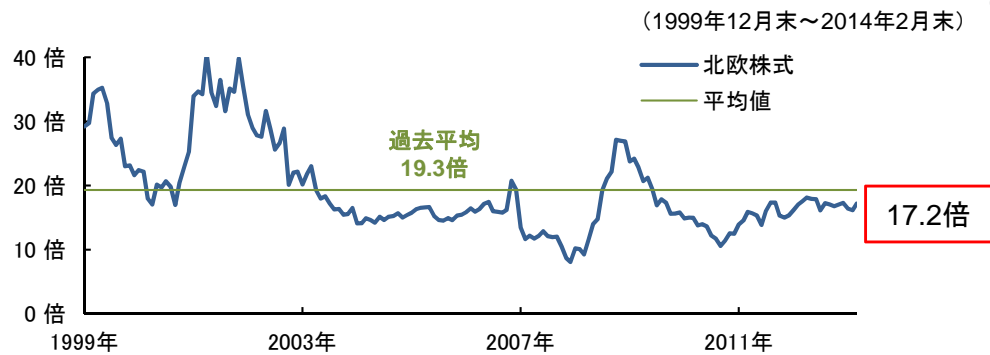
※イールドスプレッドは、欧州地域の代表的な長期金利であるドイツ10年国債利回りから北欧株式配当利回りを差し引いたもの

(出所) Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

株価上昇余地の高い北欧株式市場

- ▶ 北欧株式は、過去のPERやPBRと比較して、現在割安な水準にあると考えられます。
- ▶ 北欧高配当株式の足元の同指標をみると、北欧株式よりも割安な水準にある上、ROEは高いことから株価の上昇が期待できます。

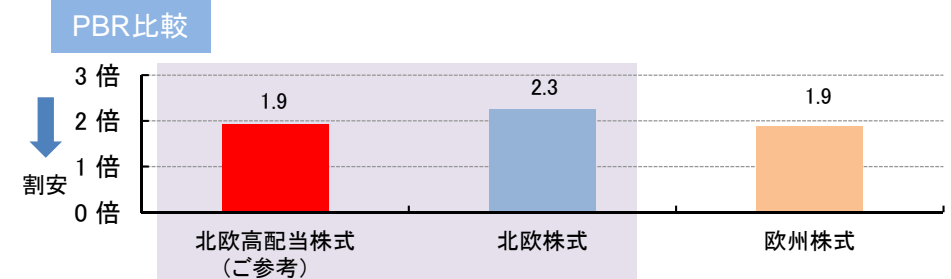
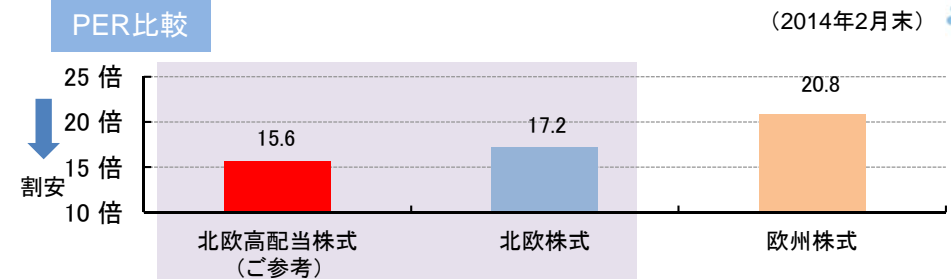
北欧株式のPER推移



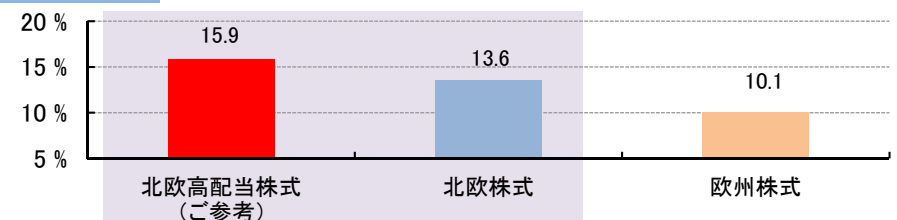
北欧株式のPBR推移



株価指標の比較



ROE比較



※北欧高配当株式: STOXX Nordic Select Dividend 20インデックス、北欧株式: MSCI Nordicインデックス、欧州株式: MSCI Europeインデックス
 ※各指標の過去平均は1999年12月末～2014年2月末の平均値

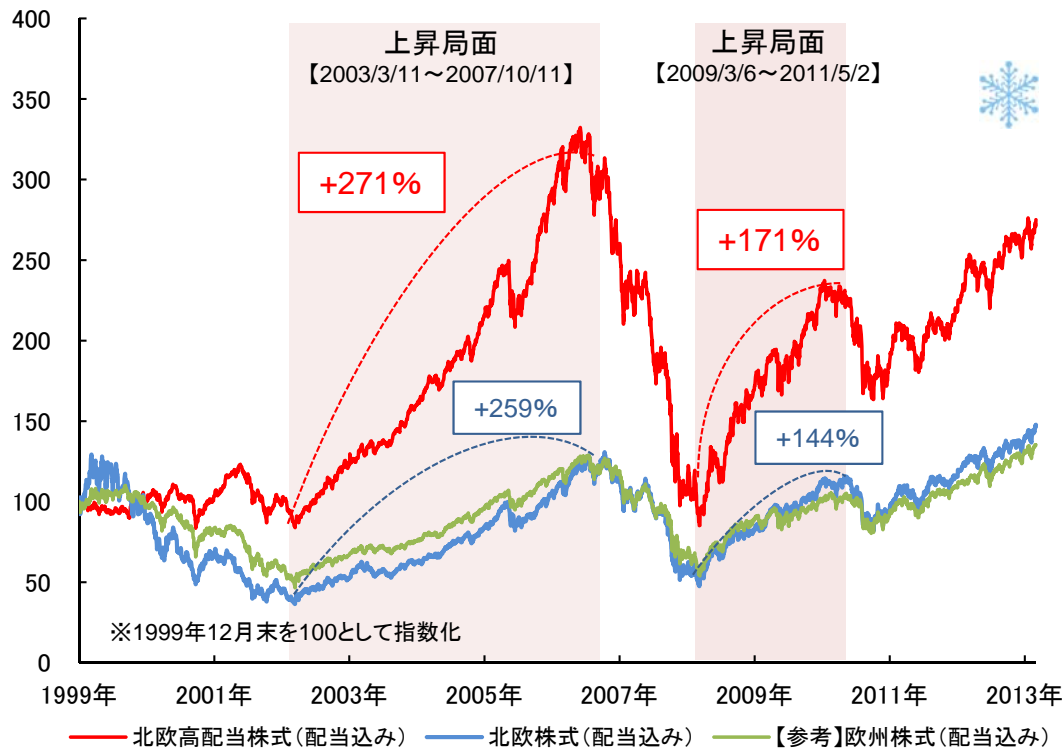
(出所) Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

魅力的なパフォーマンスが期待できる北欧高配当株式投資

- 2000年以降の長期パフォーマンスでは、北欧高配当株式指数は北欧株式指数を上回って推移しています。
- 特に相場の上昇局面では、北欧高配当株式の騰落率は北欧株式を大きく上回る傾向があります。

北欧高配当株式と北欧株式の推移

(1999年12月末～2014年2月末)



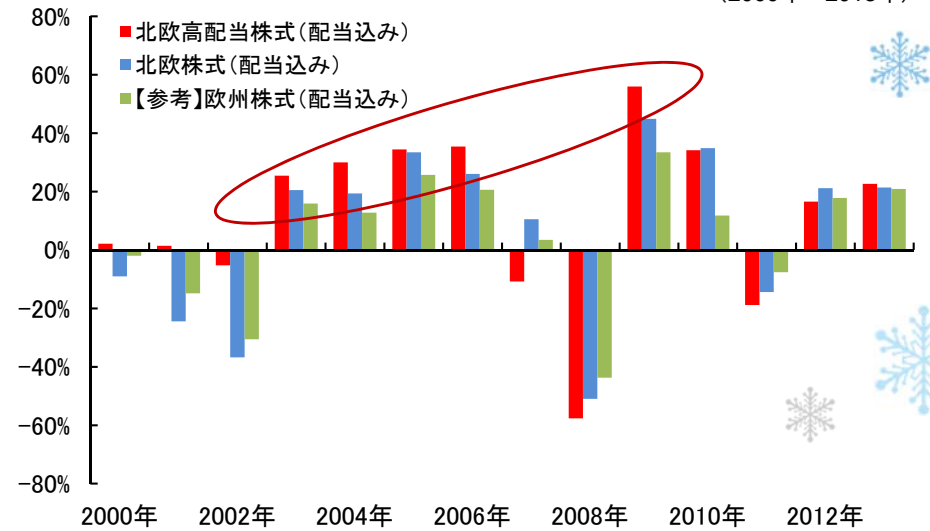
※相場の上昇局面は北欧株式の推移をもとに算出

※北欧高配当株式: STOXX Nordic Select Dividend 20インデックス、北欧株式: MSCI Nordicインデックス、欧州株式: MSCI Europeインデックス

注: 北欧高配当株式は税引き後配当込み指数。北欧株式、欧州株式は税引き前配当込み指数

北欧高配当株式と北欧株式の年間騰落率

(2000年～2013年)



(年)	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
北欧高配当株式	2%	1%	-5%	25%	30%	34%	35%	-11%	-58%	56%	34%	-19%	17%	23%
北欧株式	-9%	-24%	-37%	21%	19%	33%	26%	11%	-51%	45%	35%	-14%	21%	21%
欧州株式	-2%	-15%	-31%	16%	13%	26%	21%	3%	-44%	33%	12%	-8%	18%	21%

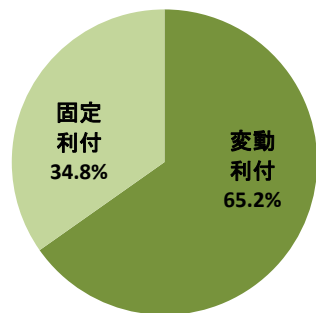
(出所) STOXX, Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

北欧ハイイールド債券市場の特徴

- ▶ 北欧ハイイールド債券の特徴として、利息（クーポン）が短期金利に応じて変動する「変動利付」と「担保付」があげられます。
- ▶ 「変動利付」の場合、金利上昇時において債券価格の変動が相対的に小さい一方、上昇した金利が利息に反映されるために収益が拡大する特徴があります。
- ▶ また「担保付」が市場全体の約20%を占めており、さらに低格付けの債券ほど「担保付」の割合が高いという特徴があります。

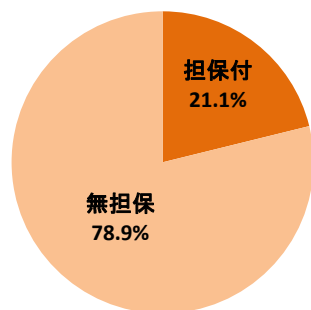
北欧ハイイールド債券の特徴

約2/3を占める「変動利付」

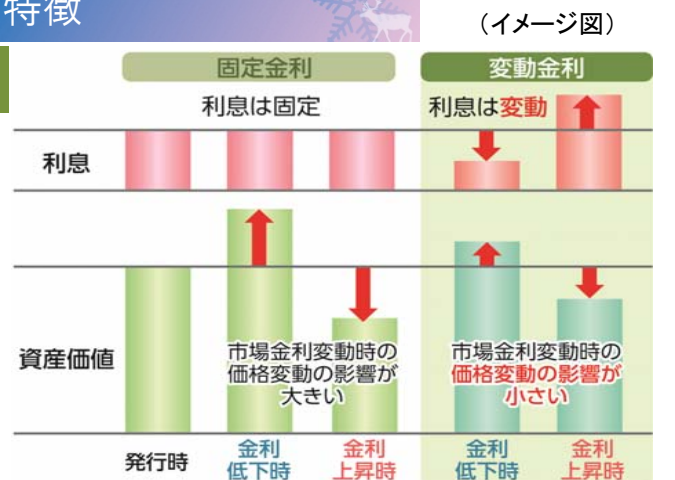


※2013年12月現在

担保付、無担保別割合

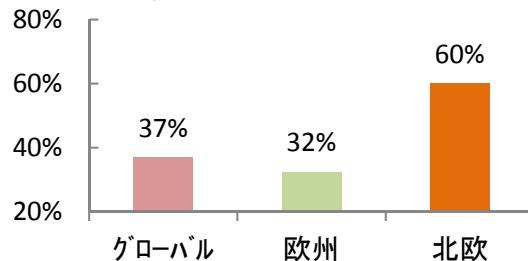


※2013年10月現在
※ノルウェー及びスウェーデンのハイイールド債券



※上図はイメージ図であり、上記の通りにならない場合があります。

ハイイールド債券デフォルト後の元本回収率



※グローバル、欧州: 1985年～2012年
※北欧: 2008年～2013年

(出所)アルフレッド・バーグ社のデータより大和住銀投信投資顧問作成

ハイイールド債券とは?

ハイイールド債券とは相対的に信用度は低いものの、高い利回りが期待できる債券のことです。

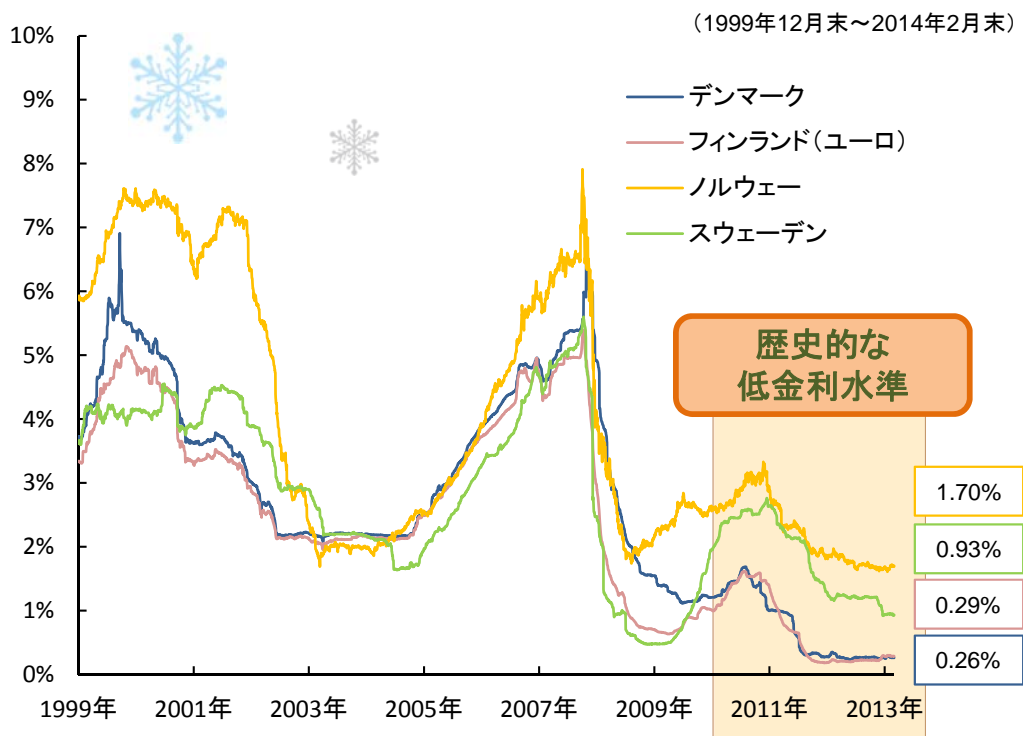
	格付けランク	
	S&P	ムーディーズ
投資適格債	AAA	Aaa
	AA	Aa
	A	A
	BBB	Baa
ハイイールド債	BB	Ba
	B	B
	CCC	Caa
	⋮	⋮



歴史的に低い短期金利水準

- ▶ 北欧諸国の短期金利は歴史的な低水準にあり、さらなる低下余地は限られています。今の景気回復が継続、また拡大していくと、短期金利は今後上昇していくことも考えられます。
- ▶ 「変動金利」の特性により、短期金利が上昇しても価格下落の影響は小さい一方、利回りは上昇するため、リターンの向上が期待できます。

歴史的に低い北欧諸国の短期金利



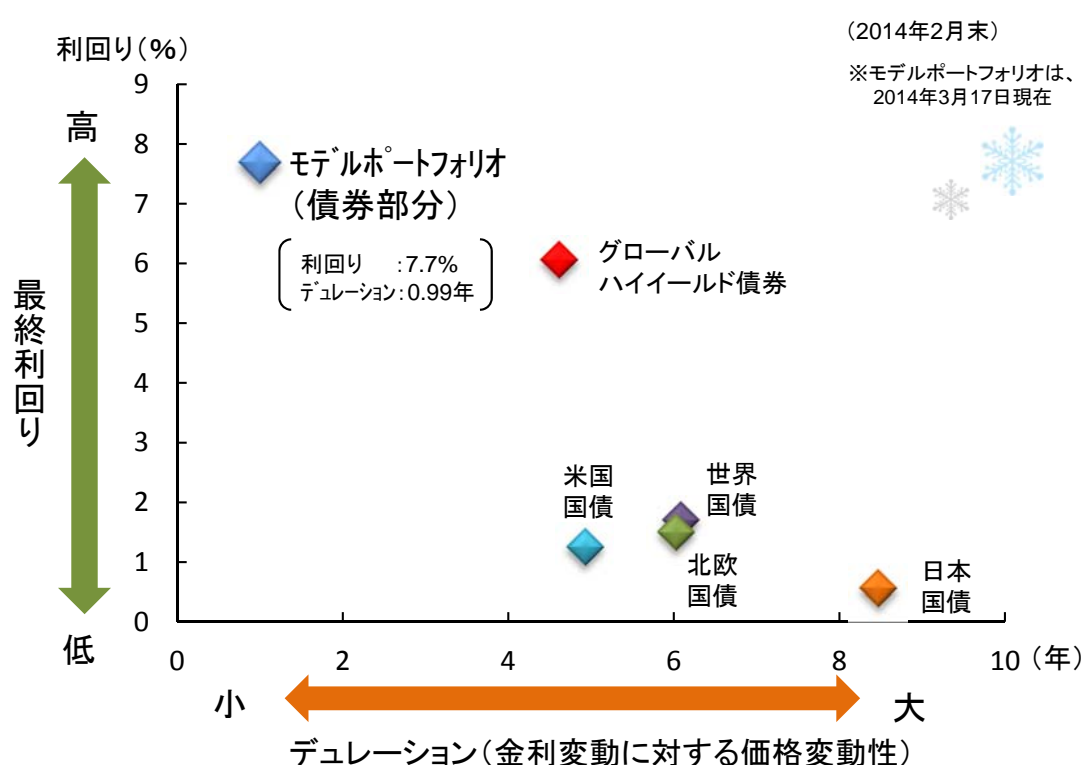
※短期金利は、各国のインターバンクレート(3カ月もの)

※グローバルハイイールド債券: BofAメリルリンチ・グローバルハイイールド指数、世界国債: シティグループ世界国債インデックス(日本除く)、米国国債: シティグループ米国国債インデックス、日本国債: シティグループ日本国債インデックス、北欧国債: デンマーク(シティグループ・デンマーク国債インデックス)、スウェーデン(シティグループ・スウェーデン国債インデックス)、フィンランド(シティグループ・フィンランド国債インデックス)、ノルウェー(シティグループ・ノルウェー国債インデックス)の平均値

(出所) アルフレッド・バーグ社、Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

(注) モデルポートフォリオの利回りは、実際の運用におけるポートフォリオの利回りを保証するものではありません(費用・税金等考慮しておりません)。また、ファンドの運用成果、投資利回り等を示唆あるいは保証するものではありません。モデルポートフォリオの詳細はP13をご参照ください。

各資産の利回り・デュレーション

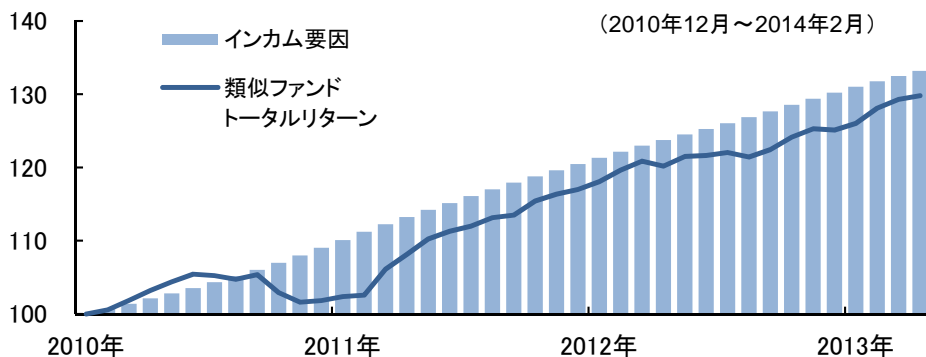


北欧ハイールド債券のパフォーマンスと信用スプレッドの縮小期待 (類似ファンド)

類似ファンド: アルフレッド・バーグ社が運用するノルウェークローネ建ての北欧ハイールド債券ファンド

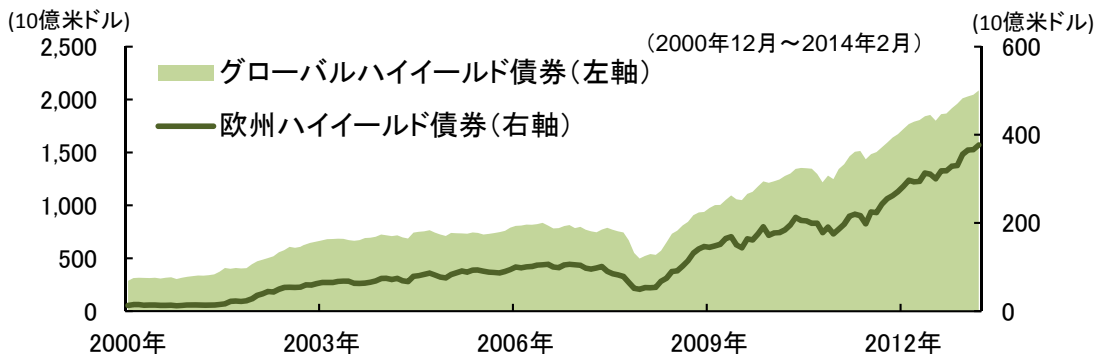
- ▶ 北欧ハイールド債券（類似ファンド）は、積極的に利回りを確保するポートフォリオマネジメントにより、安定的なパフォーマンスを示してきました。
- ▶ リーマンショックの影響が薄れるにつれ、世界的にハイールド債券の信用スプレッドは縮小してきました。北欧市場においても信用スプレッド縮小によるリターンの向上が期待できるものと考えます。

類似ファンドのパフォーマンスと要因分析



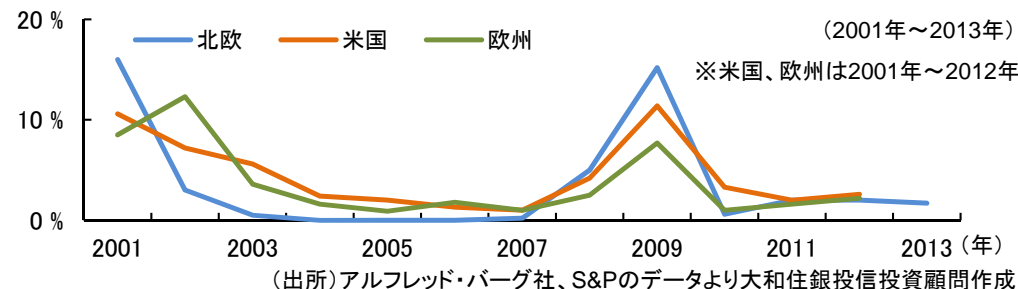
※2010年11月末を100として指数化(ノルウェークローネ建て)
※インカム要因は、月次の最終利回りデータをもとに算出
(出所)アルフレッド・バーグ社のデータより大和住銀投信投資顧問作成

ハイールド債券市場の推移

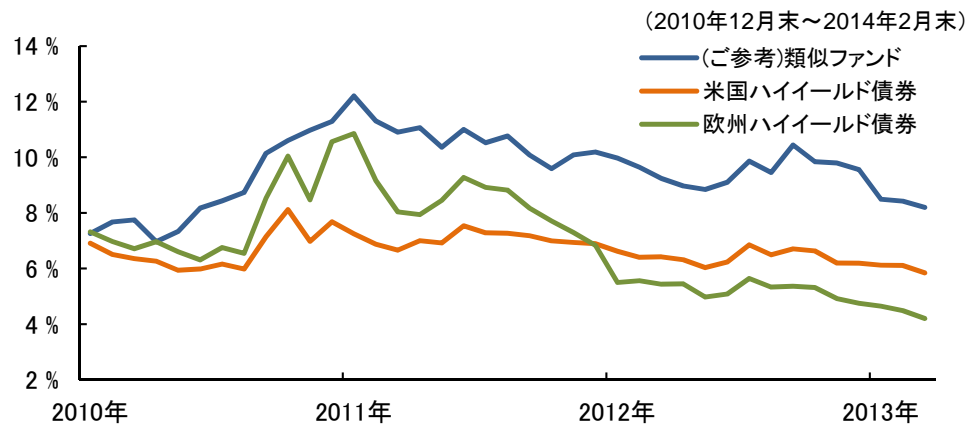


(出所)Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成
※グローバルハイールド債券: BofAメリルリンチ・グローバルハイールド指数

ハイールド債券のデフォルト率の推移



ハイールド債券指数の信用スプレッド推移



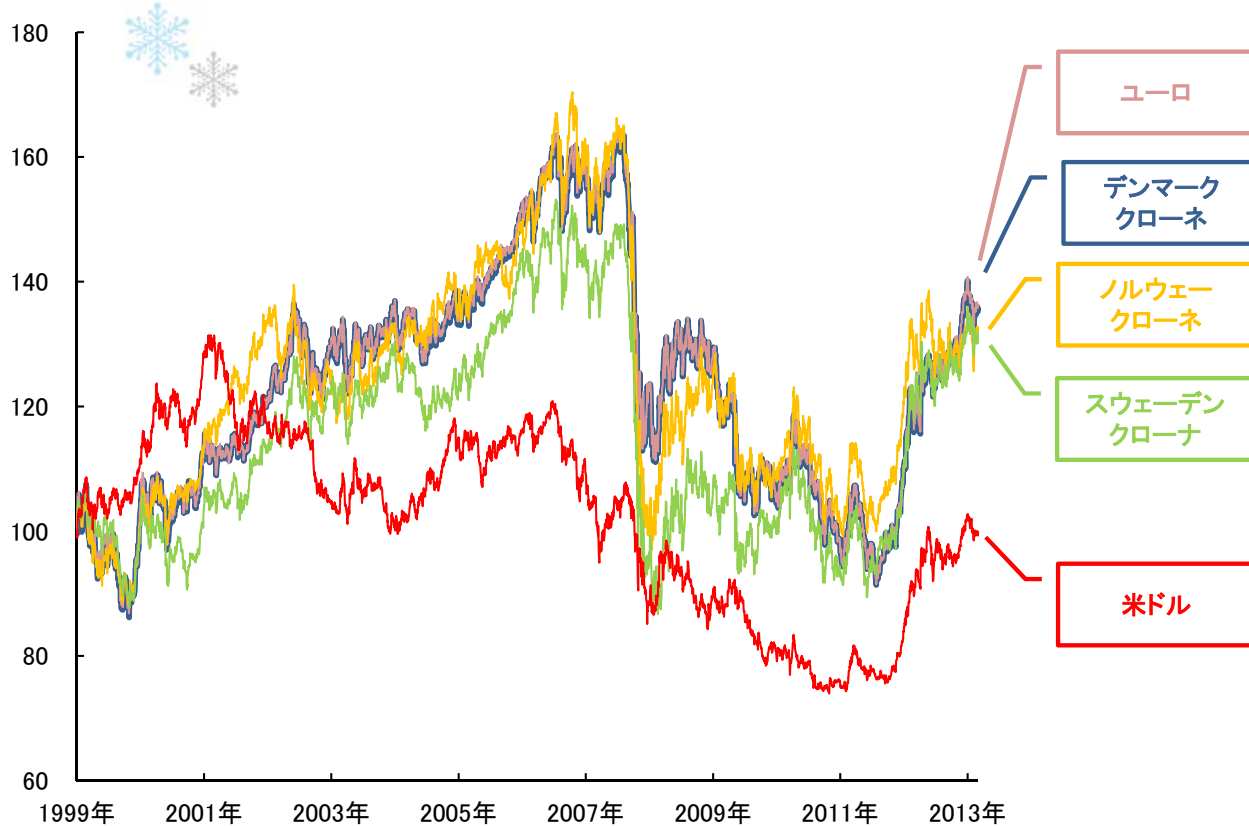
※各信用スプレッドは、各債券利回りからユーロLIBOR(3カ月)の利回りを差し引いたもの
(出所)アルフレッド・バーグ社、Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成
※米国ハイールド債券: BofAメリルリンチ米国ハイールド指数、欧州ハイールド債券: BofAメリルリンチ欧州ハイールド指数

長期的に堅調に推移する北欧通貨

- ▶ 先進国通貨への投資として、米ドルに投資した場合と比べると、長期的には北欧通貨やユーロ（フィンランドにおける通貨）への投資で相対的に高いリターンが得られたことが分かります。
- ▶ 北欧の通貨は、金融危機等の局面で相対的に大きく下落したものの、良好なファンダメンタルズ等を背景に高い回復力を発揮してきました。

北欧の各通貨と米ドルの推移（対円ベース）

（1999年12月末～2014年2月末）



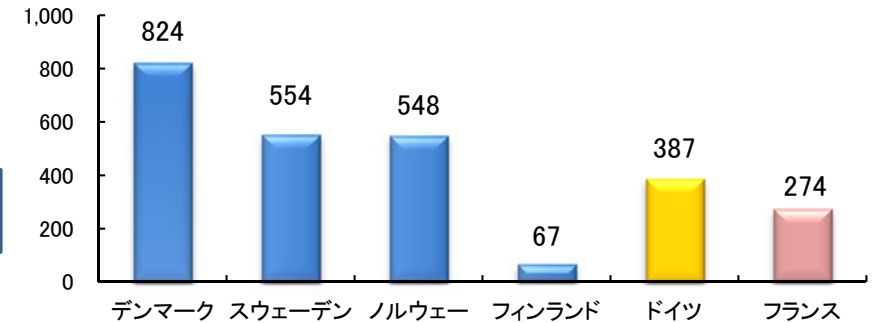
※1999年12月末を100として指数化

（出所）Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

各国の外貨準備高

（億米ドル）

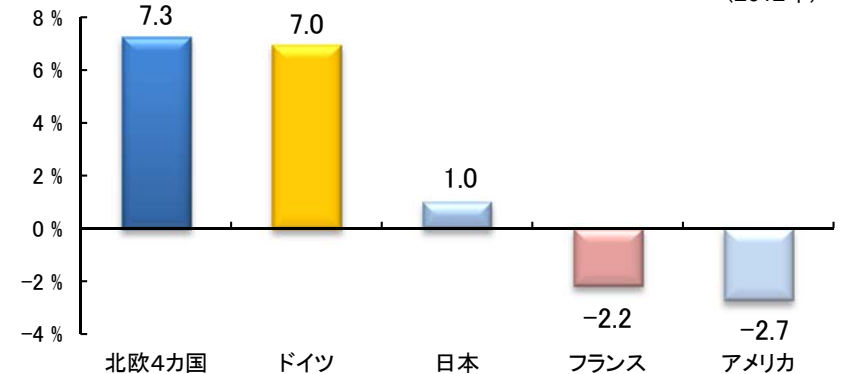
（2013年12月）



（出所）Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

北欧4カ国の経常収支（対GDP比）

（2012年）



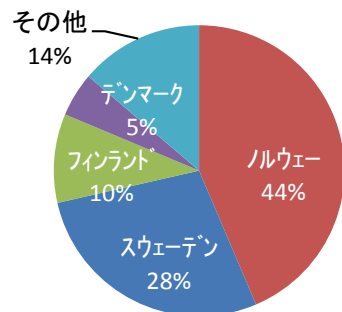
（出所）IMF, World Economic Outlook, October 2013より大和住銀投信投資顧問作成

モデルポートフォリオ ～ポートフォリオの特性～ (2014年3月17日現在)

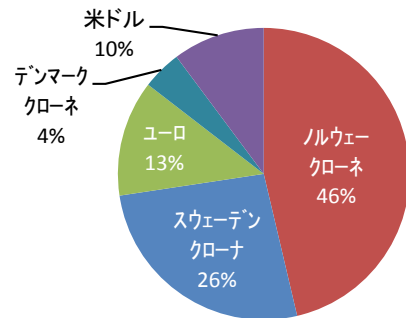
ポートフォリオ全体の特性

ポートフォリオ全体の **利回り** **7.2%**

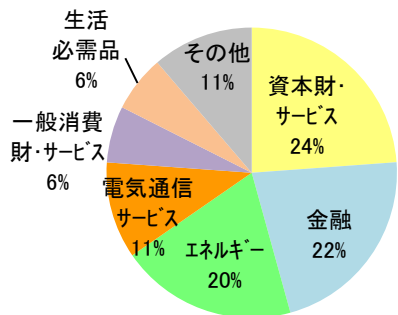
【国別構成】



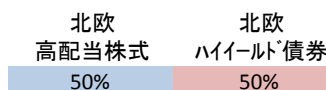
【通貨別構成】



【業種別構成】



●株式・債券への投資配分は、ファンドの純資産総額の50%±20%程度の範囲で決定



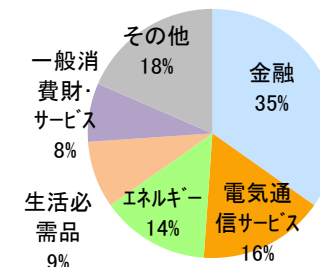
※ポートフォリオ全体の利回り、国別構成、通貨別構成、業種別構成は、株式と債券の資産配分をそれぞれ50%とし、加重平均して算出
 ※国別構成は、法人登録された国に基づき集計
 ※業種は世界産業分類基準(GICS)
 ※四捨五入の関係で比率の合計が100%にならない場合があります

(注)モデルポートフォリオの利回りは、実際の運用におけるポートフォリオの利回りを保証するものではありません(費用・税金等考慮していません)。また、ファンドの運用成果、投資利回り等を示唆あるいは保証するものではありません。

株式ポートフォリオの特性

配当利回り	6.8%
PER	15.2倍
PBR	2.1倍
ROE	19.8%
組入れ銘柄数	37

【業種別構成】



※PER、PBR、ROEは実績。配当利回りは予想

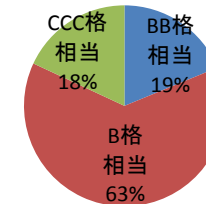
※業種は世界産業分類基準(GICS)

※各指標は、基準日時点の株式部分における組入れ比率で加重平均した数値。税金等は考慮していません。

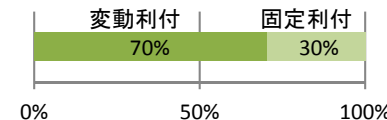
債券ポートフォリオの特性

最終利回り	7.7%
デュレーション	0.99年
平均残存年数	3.6年
平均格付け	B
組入れ銘柄数	121

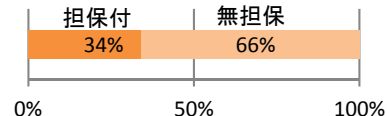
【格付け別構成】



【変動利付、固定利付別割合】



【担保付、無担保別割合】



※最終利回り、デュレーション、平均残存年数、平均格付けは債券部分の組入れ比率で加重平均した数値。税金等は考慮していません。

※格付けは、原則としてS&P社、ムーディーズ社の格付けのうち、高い方を採用(表記に当たっては、S&P社の表記方法で表示)。また、格付けがない場合はアルフレッド・バーク社が同等の信用度を有すると判断した格付けによります。

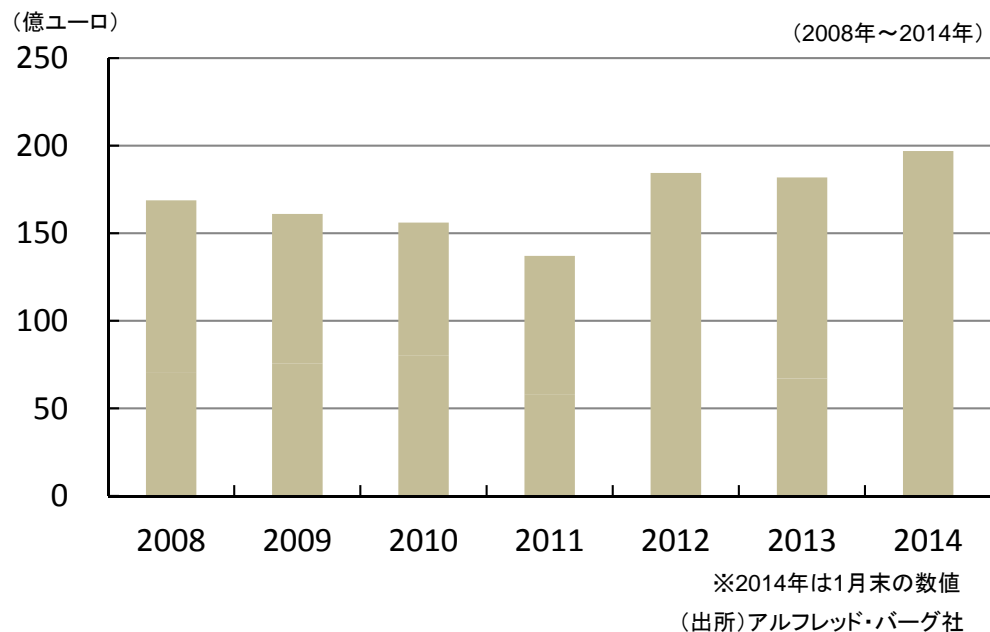
(出所)アルフレッド・バーク社のデータより大和住銀投信投資顧問作成

アルフレッド・バーグ社のご紹介

アルフレッド・バーグ社の紹介

- アルフレッド・バーグ社は、1863年に設立され、北欧の3カ国（ノルウェー、スウェーデン、フィンランド）に運用拠点を有する、北欧関連資産の運用に強みを持つ資産運用会社です。
- 2010年から、世界的ネットワークを有するBNPパリバ インベストメント・パートナーズの子会社となることで、世界の投資家に対して、運用戦略を提供しています。
- 北欧ハイイールド債券に投資する世界最大級のファンドの運用を行うなど世界の機関投資家の資産を運用しており、運用資産総額は197億ユーロ（2.71兆円）となっています。（2014年1月末）

運用資産総額の推移



運用哲学・考え方・運用プロセス

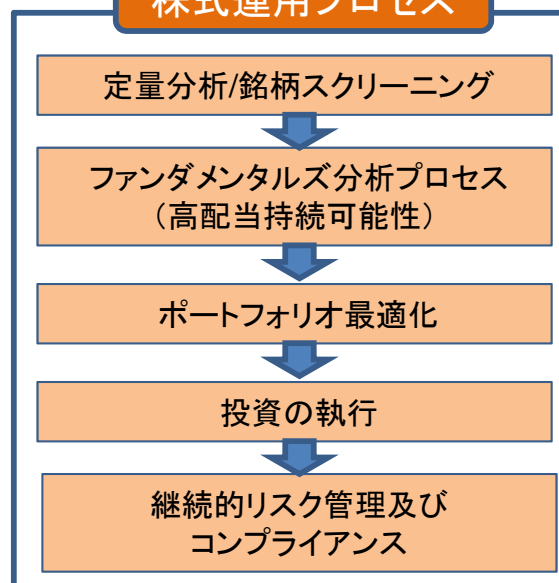
高配当株式の運用哲学・考え方

高配当株式運用においては、高配当を継続的に生み出す企業に投資することにより、優れたリスク調整後のリターンを長期にわたり達成することが出来るとの信念に基づいています。
アルフレッド・バーグ社では、定量的な銘柄選別基準に加え、徹底した定性的な個別銘柄分析を行うことで、高配当を継続的に生み出す企業を見出すことが出来ると考えています。

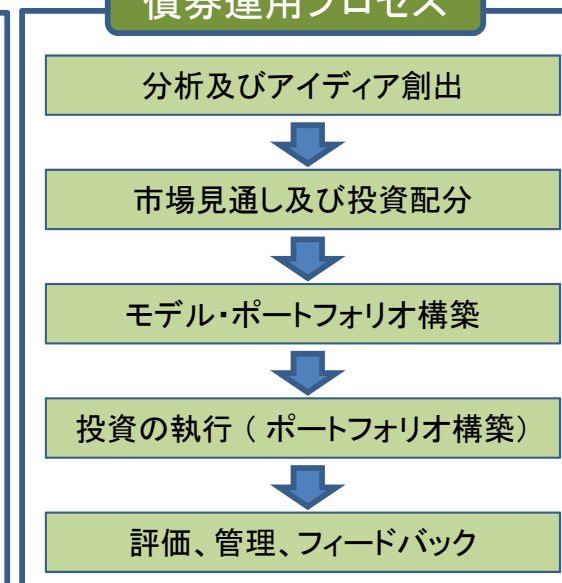
ハイイールド債券の運用哲学・考え方

北欧ハイイールド債券運用の哲学は、ファンダメンタルズ及びクオンツの双方を組み合わせた厳密なリサーチを通じて、市場のアノマリーを見出し、顧客に長期間にわたって安定し優れた運用成果を提供するという信念に根ざしたものです。

株式運用プロセス



債券運用プロセス

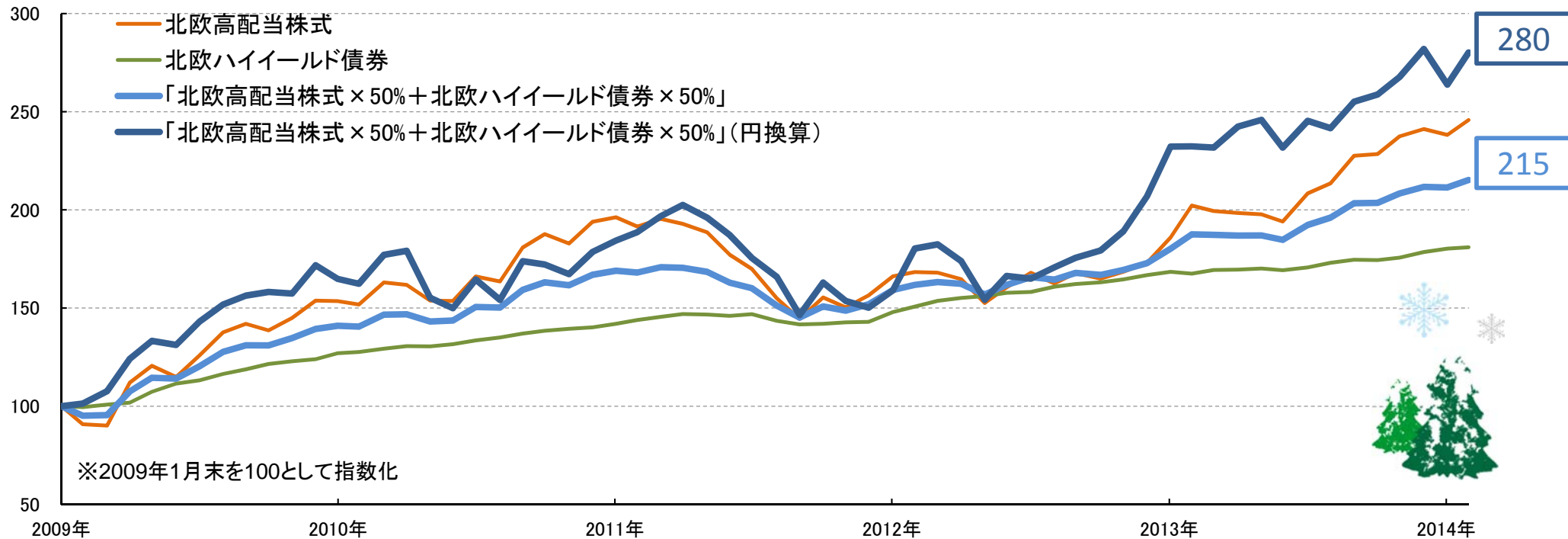


モデルポートフォリオ ～シミュレーション～

パフォーマンスの推移（シミュレーション）

- 「北欧高配当株式×50%+北欧ハイイールド債券×50%」は、投資配分比率を各々50%（毎月リバランス）として算出
- 「北欧高配当株式×50%+北欧ハイイールド債券×50%」（円換算）は、上記を円換算したもの

（2009年1月末～2014年2月末）



※上記のグラフは、当ファンドの過去のパフォーマンス、価格変動性をイメージいただくために行なったシミュレーションです。
 ※シミュレーションに当たっては、北欧高配当株式のインデックス(ノルウェークローネ換算)とアルフレッド・バーグ社が運用する北欧ハイイールド債券の類似ファンド(ノルウェークローネ建て)の過去のデータを用いています(月次でリバランス。税金、手数料等は考慮せず)。
 ※上記のシミュレーションは、過去の実績値をもとに計算したものであり、実際のファンドの運用とは異なります。上記の図表は、当ファンドの将来の運用成果や分配金水準を保証、示唆するものではありません。

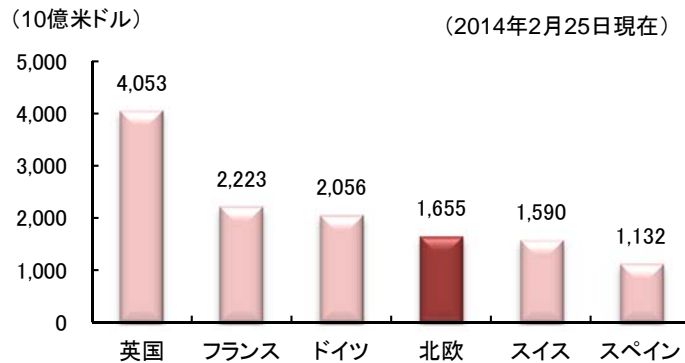
※北欧ハイイールド債券:アルフレッド・バーグ社が運用する類似ファンド(ノルウェークローネ建て)
 ※北欧高配当株式:STOXX Nordic Select Dividend 20インデックス(税引き後配当込み指数、ノルウェークローネ換算)

(出所)アルフレッド・バーグ社、Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

(ご参考) 北欧株式市場の特徴

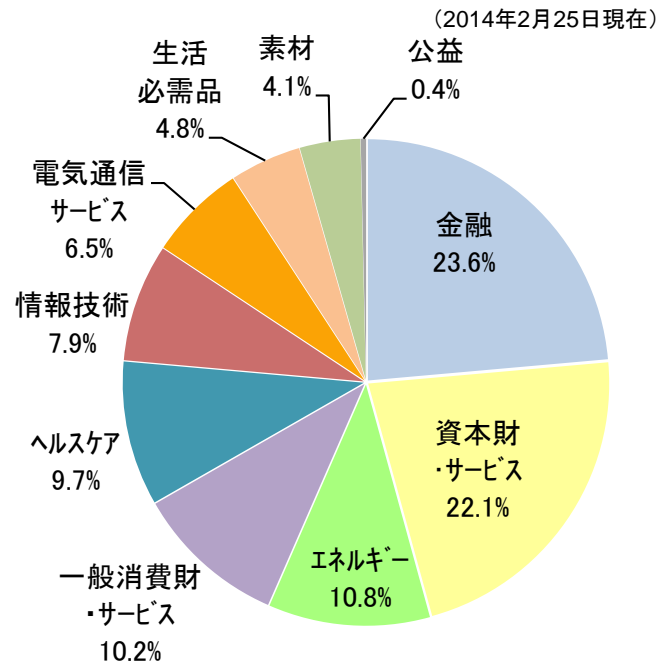
- ▶ 北欧全体の株式時価総額合計は約1兆6,000億米ドルと、欧州では英国、フランス、ドイツに次ぐ規模です。
- ▶ 業種構成は、エネルギー、農林水産業をはじめとする1次産業から、自動車、機械、IT関連、化学など製造業、金融、通信などサービス業まで、北欧各国の得意分野を活かした幅広い産業基盤を有しており、主な業種で世界的に展開する代表的な企業が多数存在しています。

北欧と欧州主要国の時価総額比較



※北欧は、デンマーク、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンの合計

北欧株式市場の業種構成



※デンマーク: OMXコペンハーゲン指数、フィンランド: OMXヘルシンキ全株指数、ノルウェー: オスロ全株指数、スウェーデン: OMXストックホルム全株指数
 ※北欧4カ国の業種構成は、各指数の個別銘柄の時価総額(ユーロ換算)をもとに算出、表示

北欧の代表的なグローバル企業

●金融

ノルデア銀行(スウェーデン):

『G-SIFIs』に選ばれている世界を代表する金融機関

●資本財・サービス

ボルボ(スウェーデン):

日本でも有名な自動車メーカーで建設機械も手掛ける

サンドビック(スウェーデン):

金属加工などを手掛ける世界的なハイテク企業

●エネルギー

スタイル(ノルウェー):

石油・ガスの探査、生産、精製等を世界的規模で展開

ルンディン・ペトロリウム(スウェーデン):

ノルウェーをはじめ世界各地で石油・ガスを探査・生産

●一般消費財・サービス

H&M(スウェーデン):

日本でお馴染みの世界的に有名な衣料品販売会社

アメアスポーツ(フィンランド):

Wilsonなどの複数の有名ブランドを展開

●ヘルスケア

ノボ・ノルディスク(デンマーク):

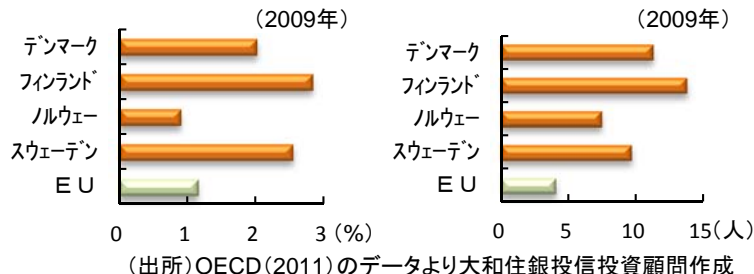
糖尿病治療薬で有名な世界的医薬品メーカー

(出所) Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

北欧経済の成長を支える要因

北欧経済の成長を支える要因として、研究開発に対する積極的な取り組みなどがあげられます。

【企業の研究開発費の対GDP比】 【被雇用者1000人あたりの研究者数】



(ご参考)個別銘柄の紹介

ABGサンダー・コリヤー

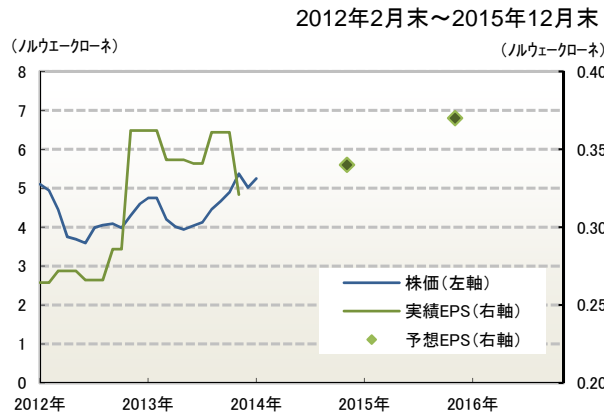
<企業概要>

- ノルウェーの金融機関。

<注目ポイント>

- 機関投資家向けの証券仲介業及び投資銀行業務を手掛ける。
- ロンドン、ニューヨークにもオフィスを展開。

<株価と1株当たり利益(EPS)の推移>



PER 16.3倍 PBR 1.9倍

ROE 11.6% 配当利回り 9.5%

※PER、PBR、配当利回りは2014年2月末現在
ROEは2013年12月末現在

ストラ・エンソ

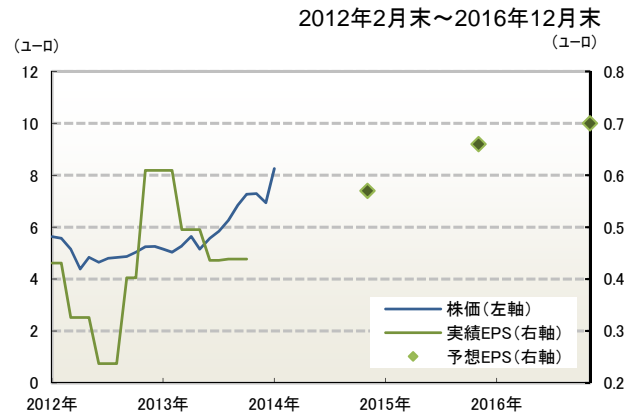
<企業概要>

- フィンランドの製紙・製材メーカー。

<注目ポイント>

- 上質紙、印刷用紙の他、木材製品を手掛ける。
- 欧州を中心に事業を展開。

<株価と1株当たり利益(EPS)の推移>



PER 16.6倍 PBR 1.1倍

ROE 6.2% 配当利回り 3.6%

※PER、PBR、配当利回りは2014年2月末現在
ROEは2013年12月末現在

セキュリタス

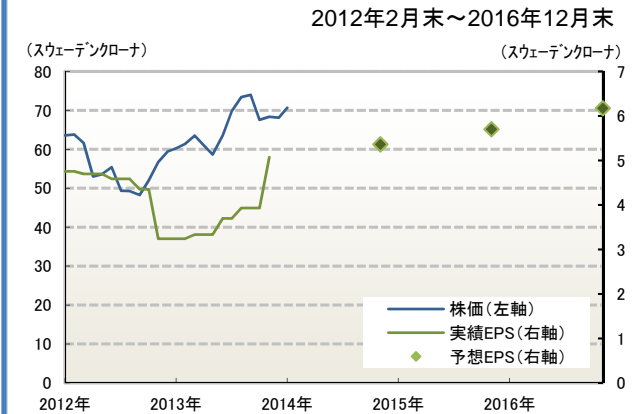
<企業概要>

- スウェーデンの警備会社。

<注目ポイント>

- 家・職場・地域社会の警備サービスをはじめ、セキュリティ商品の開発・販売に従事。
- 欧州、北・中南米、中東、アジアで事業を展開。

<株価と1株当たり利益(EPS)の推移>



PER 13.9倍 PBR 2.8倍

ROE 20.6% 配当利回り 4.2%

※PER、PBR、配当利回りは2014年2月末現在
ROEは2013年12月末現在

※予想EPSは2014年3月現在のBloomberg予想 (ABGサンダー・コリヤーの予想EPSは2015年12月末まで)

※EPSがマイナスの期間は表示せず

※PER、PBR、配当利回り、ROEは実績値

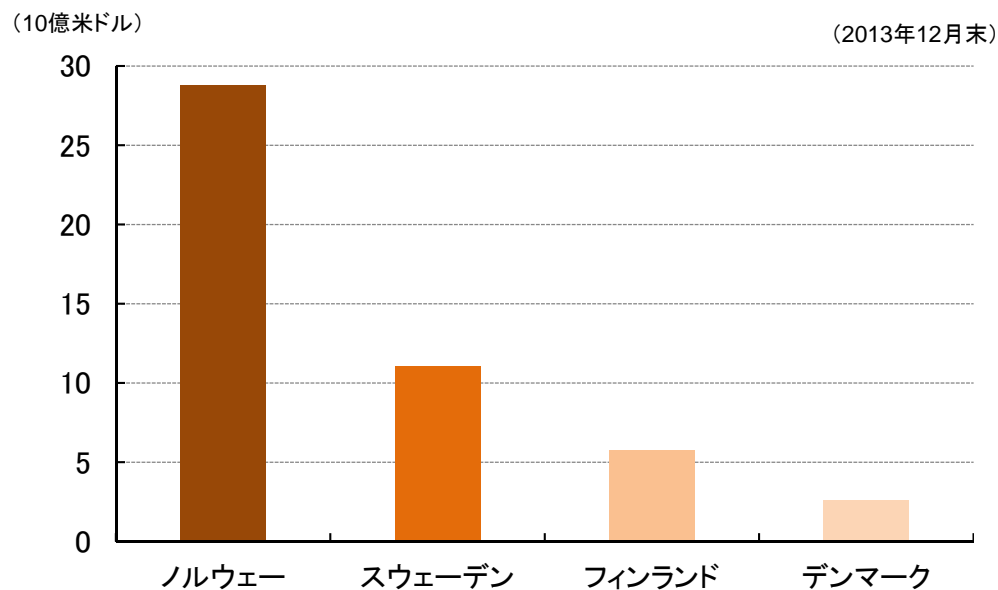
(出所)アルフレッド・バーク社、Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

上記の企業は参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また当ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(ご参考) 拡大が期待される北欧ハイイールド債券市場

- ▶ 他市場と比べると市場規模は小さいものの、北欧のソブリン・ウェルス・ファンド（国や公的機関が運用するファンド）が同市場で債券投資を行っていることから、十分な市場の厚みがあると考えられます。
- ▶ 現在の市場はノルウェーが中心で、油田開発や海運セクターのファイナンス需要により市場が発展してきました。スウェーデンでは政府のバックアップもあることから、北欧の市場規模は今後も拡大していくと期待されます。

北欧ハイイールド債券の市場規模



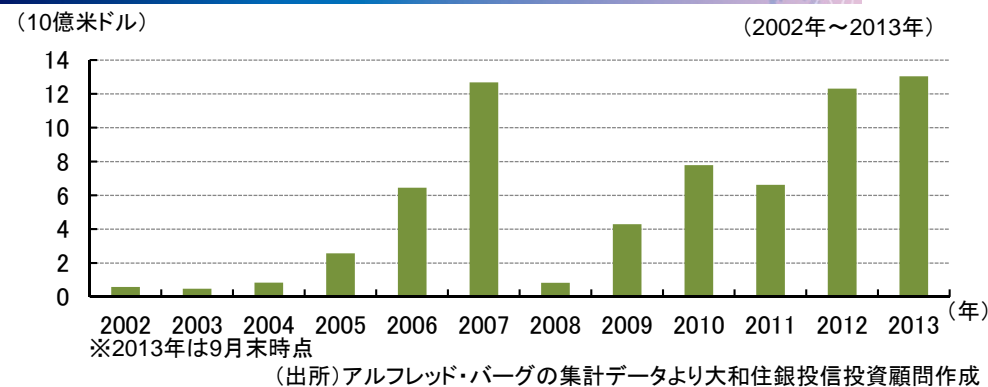
北欧ハイイールド債券の市場規模: 約482億米ドル

欧州ハイイールド債券の市場規模: 約3,655億米ドル

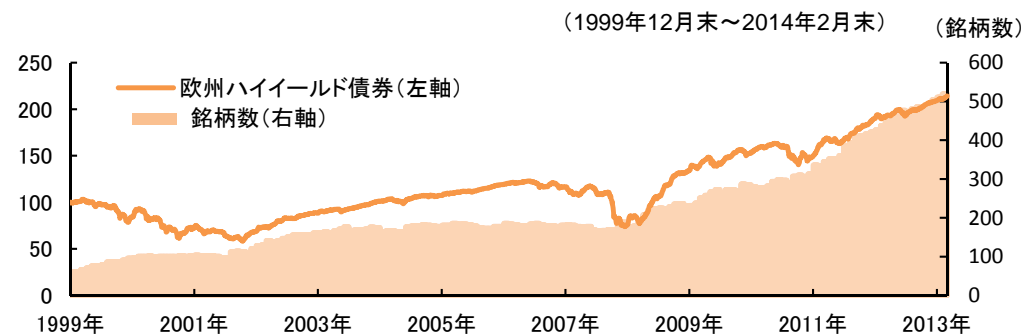
米国ハイイールド債券の市場規模: 約1.3兆米ドル

(出所) アルフレッド・バーグ社のデータより大和住銀投信投資顧問作成

北欧ハイイールド債券の新規発行規模の推移



(参考) 欧州ハイイールド債券のパフォーマンスと銘柄数の推移



※欧州ハイイールド債券: BofAメリルリンチ・欧州ハイイールド指数
※1999年12月末を100として指数化。銘柄数は指数構成銘柄数

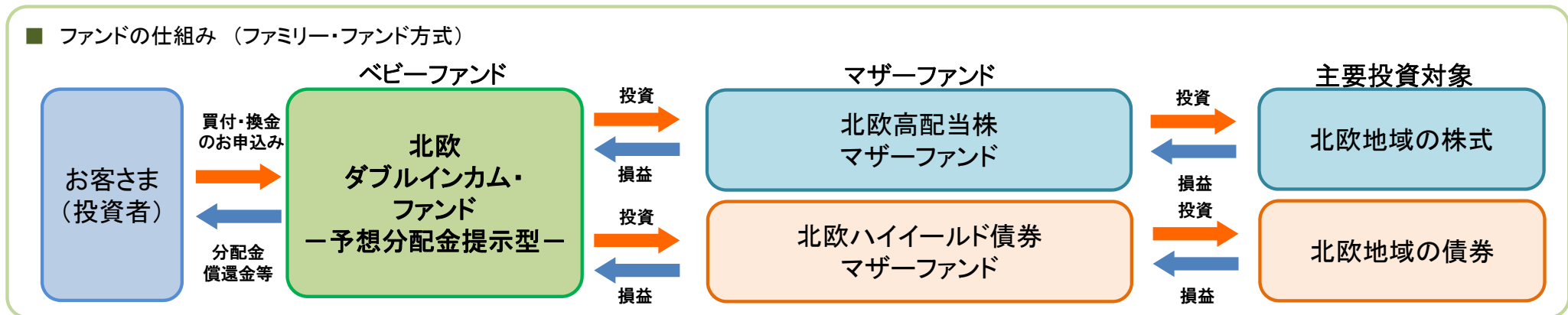
(出所) Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

ファンドの特色①

特色 1

マザーファンドへの投資を通じて、主として北欧地域の相対的に高利回りの株式および債券に投資することにより、高水準のインカムゲイン（利子・配当収益）の確保と信託財産の成長を目指します。

- 当ファンドは、「北欧高配当株マザーファンド」および「北欧ハイイールド債券マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行いません。
 - 株式への投資にあたっては、主に北欧地域の金融商品取引所に上場している株式の中から、配当利回り水準に着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。
 - 債券への投資にあたっては、主に北欧地域のハイイールド債券等を中心に投資します。
 - 株式と債券の実質投資配分は各々50%±20%程度の範囲内とします。
 - 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
- ※当ファンドにおいて北欧地域とは、主にデンマーク、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンの4カ国をいいます。



特色 2

実質的な運用は、アルフレッド・バーグ・カピタルフォルバルトニング社が行ないます。

- 各マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、アルフレッド・バーグ・カピタルフォルバルトニング社 (Alfred Berg Kapitalforvaltning AS) (所在地: ノルウェー王国オスロ) へ委託します。
- ※各マザーファンドへの投資配分は、アルフレッド・バーグ社からの投資助言を受けます。

※ 資金動向、市況動向、残存信託期間、残存元本等によっては、あるいはやむをえない事情が発生した場合等には、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの特色②

特色❁❁❁ 3

毎年1月、4月、7月、10月の27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行ない、基準価額に応じた分配を目指します。

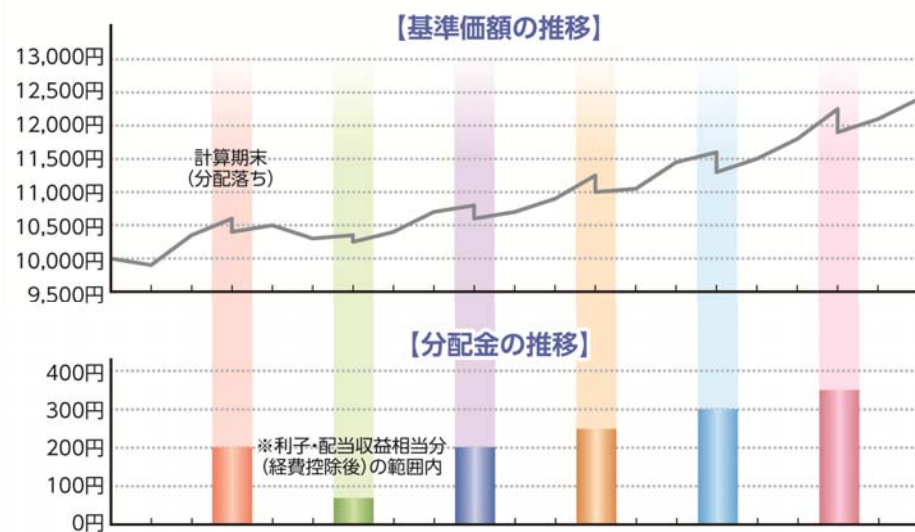
- 第1回決算日は平成26年7月28日とします。
- 基準価額は1万口あたりとし、既払分配金を加算しません。
- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
- 原則として、計算期末の前営業日の基準価額に応じて、下記の表の金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。また、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行わないことがあります。
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

計算期末の前営業日の 基準価額	分配金額 (1万口あたり、税引前)
10,500円未満	利子・配当収益相当分(経費控除後)の範囲内
10,500円以上11,000円未満	200円
11,000円以上11,500円未満	250円
11,500円以上12,000円未満	300円
12,000円以上12,500円未満	350円
12,500円以上	400円

※基準価額に応じて、四半期毎の分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。
 ※分配により基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。
 ※計算期末の前営業日の基準価額が10,500円未満の場合の収益分配金は、利子・配当収益相当分(経費控除後)の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。

当ファンドは、あらかじめ分配金額を提示する「予想分配金提示型」ファンドです。

- ポイント 1 運用実績に基づいて分配金を決定
- ポイント 2 分配金額は基準価額の上昇に応じて増加していく仕組み
- ポイント 3 ファンドを換金しなくても分配金受け取りにより、利益確定の効果が期待できます



※上記は、四半期毎の分配金額が変動する場合があることを表したイメージです。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払およびその金額について示唆・保証するものではありません。

投資リスク

- 当ファンドは、マザーファンドを通じて、実質的に株式や債券など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- お申し込みの際には、販売会社からお渡しします『投資信託説明書(交付目論見書)』の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

《基準価額の変動要因》 基準価額を変動させる要因として主に以下のリスクがあります。ただし、以下の説明はすべてのリスクを表したものではありません。

株価変動に伴うリスク	株価は、発行企業の業績や市場での需給等の影響を受け変動します。また、発行企業の信用状況にも影響されます。これらの要因により、株価が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。
金利変動に伴うリスク	投資対象の債券等は、経済情勢の変化等を受けた金利水準の変動に伴い価格が変動します。通常、金利が低下すると債券価格は上昇し、金利が上昇すると債券価格は下落します。債券価格が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。また、債券の種類や特定の銘柄に関わる格付け等の違い、利払い等の仕組みの違いなどにより、価格の変動度合いが大きくなる場合と小さくなる場合があります。
信用リスク	投資対象となる債券等の発行体において、万一、元利金の債務不履行や支払い遅延(デフォルト)が起ると、債券価格は大幅に下落します。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。また、格付機関により格下げされた場合は、債券価格が下落し、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。 また、投資対象となる債券等の発行企業の財務状況等が悪化し、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の債券価格は大きく下落し、投資資金が回収できなくなることもあります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。当ファンドでは、低格付けの債券へも投資する場合がありますが、低格付けの債券は、一般的に高格付けの債券と比べて高い利回りを享受できる一方で、発行体からの元金支払いの遅延または不履行(デフォルト)となるリスクが高いとされます。 株式の発行企業の財務状況等が悪化し、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の株価は大きく下落し、投資資金が回収できなくなることもあります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
為替リスク	当ファンドは、マザーファンドを通じて外貨建資産に投資するため、為替変動のリスクが生じます。また、当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接受けます。したがって、円高局面では、その資産価値が大きく減少する可能性があり、この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
流動性リスク	実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることとなったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
カントリーリスク	投資対象となる国と地域によっては、政治・経済情勢が不安定になったり、証券取引・外国為替取引等に関する規制が変更されたりする場合があります。さらに、外国政府が資産の没収、国有化、差押えなどを行う可能性もあります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

●購入時手数料	購入金額に下記の手数料率(税込)を乗じて得た額とします。	(ご参考) ●口数指定で購入する場合 例えば、基準価額10,000円のときに100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 $\text{購入金額} = (10,000\text{円}/1\text{万口}) \times 100\text{万口} = 100\text{万円}$ $\text{購入時手数料} = \text{購入金額}(100\text{万円}) \times 3.24\%(\text{税込}) = 32,400\text{円}$ となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万2,400円をお支払いいただくこととなります。 ●金額指定で購入する場合 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>購入金額</th> <th>手数料率(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1億円未満</td> <td>3.240%</td> </tr> <tr> <td>1億円以上5億円未満</td> <td>1.620%</td> </tr> <tr> <td>5億円以上10億円未満</td> <td>1.080%</td> </tr> <tr> <td>10億円以上</td> <td>0.540%</td> </tr> </tbody> </table> 購入金額:(購入申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口)×購入口数 ※購入時手数料には消費税等相当額がかかります。		購入金額	手数料率(税込)	1億円未満	3.240%	1億円以上5億円未満	1.620%	5億円以上10億円未満	1.080%
購入金額	手数料率(税込)									
1億円未満	3.240%									
1億円以上5億円未満	1.620%									
5億円以上10億円未満	1.080%									
10億円以上	0.540%									
●信託財産留保額	ありません。									

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

●運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に 年率 1.9332%(税込) を乗じて得た額とします。 運用管理費用(信託報酬)は、原則として毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
●その他の費用・ 手数料	信託財産の財務諸表の監査に要する費用は、毎日、信託財産の純資産総額に年率0.00864%(税抜0.0080%)以内の率を乗じて得た額とし、各特定期末または信託終了時に信託財産から支払われます。その他、有価証券売買時の売買委託手数料、それらに対する消費税等相当額等は、取引または請求のつど、信託財産から支払われます。これらの費用および当ファンドが投資対象とするマザーファンドにおける信託財産で間接的にご負担いただく費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※大和証券でお申込みの場合の購入時手数料です。

※当該手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ

●申込期間	当初申込期間：平成26年4月11日～平成26年4月28日 継続申込期間：平成26年4月30日以降
●信託期間	平成26年4月30日～平成31年4月30日(約5年)
●購入単位	1,000円以上1円単位(※)または、1,000口以上1口単位 (※)購入時手数料および購入時手数料にかかる消費税等相当額を含めて上記の単位となります。
●購入価額	当初申込期間：10,000口当たり10,000円 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額
●換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 換金代金は、換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
●購入・換金申込受付不可日	ノルウェーの銀行の休業日、スウェーデンの銀行休業日、オスロ証券取引所の休業日・半休業日または、ストックホルム証券取引所の休業日・半休業日と同日の場合はお申込みできません。
●決算日	毎年1月、4月、7月、10月の27日(休業日の場合は翌営業日、第1回決算日は平成26年7月28日)
●収益分配	原則として年4回の決算時に分配を目指します。 * 分配金再投資コースを選択された場合は、税金を差引いた後自動的に無手数料で再投資されます。
●課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。当ファンドは、益金不算入制度および配当控除の適用はありません。 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合…少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」は、平成26年1月1日以降の非課税制度です。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※大和証券でお申込みの場合の購入単位です。

■収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」等をご覧ください。

※表紙「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご参照ください。